2019年4月10日

ＪＡ広島総合病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	骨粗鬆症性椎体骨折に対するBKP施行例におけるTimed Up and Go Testの有用性
倫理委員会承認番号	No.19-6
研究の対象	2011年1月～2017年6月　当院整形外科にて骨粗鬆症性椎体骨折に対し、BKPを施行され術前に自力歩行可能で、術後1年間の経過観察が可能であった方。
研究目的・方法	当院では骨粗鬆症性椎体骨折に対する経皮的椎体形成術（Balloon Kyphoplasty:BKP）術後ADL指導に理学療法士が介入している。BKPは侵襲が少なく疼痛改善効果が高いため、ADL能力の改善がみられる一方、術後隣接椎体骨折を来す症例もみられる。Timed Up and Go Test（TUG）は、運動器不安定症の指標であり、ADLを定量的に評価することができるが、椎体骨折においては有用性が明らかではない。そのため、骨粗鬆症性椎体骨折に対するBKP施行例におけるTUGの有用性を検討することを目的とした。
研究に用いる 試料・情報の種類	データ分析方法 ・術前と術後(1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月)の比較：VAS、ODI、TUGを用いて評価する。 ・TUGと各種指標の関連検討：TUGと年齢、VAS、ODIの回帰分析。 ・術後隣接椎体骨折の有無と術前TUG値の関連
外部への 試料・情報の提供	
個人情報の取り扱い	使用した情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。 また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。
利益相反の有無	有　・(無)　（　　）
お問い合わせ先	廿日市市地御前１丁目３番３号 ＪＡ広島総合病院　　リハビリテーション科 研究責任者：井場　和敏 TEL：0829-36-3111　/　FAX：0829-36-5573
備考	